

# ウオダス

## 漁海況速報

No. 1573



発行日 平成 19 年 8 月 16 日

<http://www.appenet.jp/~aosui/>

発行 青森県水産総合研究センター

TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778

住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸 384-37

### 8月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

○親潮第1分枝は弱勢が続いています

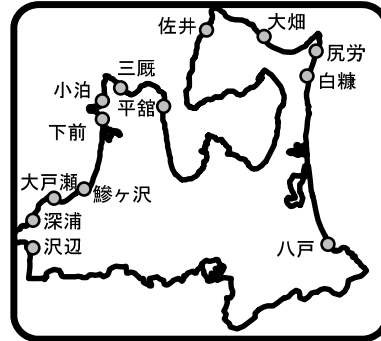
小泊 (8月6~10日)		スルメイカ	一本釣	130隻	113,005kg
ウスメバル	刺網	65隻	4,274kg		
(4,557kg)	一本釣	19隻	283kg		
マグロ	延縄	63隻	9,319kg		

三厩 (8月6~10日)		スルメイカ	一本釣	32隻	19,200kg
マグロ	一本釣 <td>40隻</td> <td>3,051kg</td> <td></td> <td></td>	40隻	3,051kg		

大畑 (8月6~10日)		スルメイカ	一本釣	206隻	118,015kg
(119,049kg)	定置網	2隻	1,034kg		
ブ	リ定置網	1隻	12kg		
(13kg)	一本釣	1隻	1kg		
マ	ダイ定置網	1隻	0.5kg		
(5kg)	一本釣	4隻	4kg		
ウスメバル	一本釣	3隻	12kg		
マ	グロ延縄	4隻	425kg		
マ	サバ定置網	2隻	9kg		
サ	ケ定置網	1隻	3kg		
サ	クラマス定置網	1隻	0.9kg		
マ	ダイラ一本釣	1隻	5kg		
ヤ	リイカ定置網	1隻	6kg		

八戸 (8月6~10日)		スルメイカ	一本釣	242隻	323,637kg
(743,932kg)	まき網	4隻	420,295kg		
マ	サバまき網	47隻	4,048,077kg		
サ	ケ他定置網	6隻	4,512kg		

下前 (8月1~5日)		スルメイカ	一本釣	48隻	32,705kg
ウスメバル	刺網	11隻	568kg		
(632kg)	一本釣	3隻	64kg		
マグロ	延縄	2隻	415kg		



白糠 (7月1~5日)		スルメイカ	一本釣	167隻	85,960kg
-------------	--	-------	-----	------	----------

(7月6~10日)

スルメイカ	一本釣	170隻	96,510kg
-------	-----	------	----------

ウスメバル	一本釣	1隻	11kg
-------	-----	----	------

マダラ	定置網	4隻	24kg
-----	-----	----	------

(7月11~15日)

スルメイカ	一本釣	6隻	5,050kg
-------	-----	----	---------

(7月16~20日)

(対象魚種の漁獲なし)

(7月21~25日)

スルメイカ	一本釣	161隻	93,340kg
-------	-----	------	----------

ウスメバル	一本釣	1隻	9kg
-------	-----	----	-----

マダラ	定置網	3隻	58kg
-----	-----	----	------

(7月26~31日)

スルメイカ	一本釣	206隻	130,255kg
-------	-----	------	-----------

マダラ	定置網	4隻	63kg
-----	-----	----	------

(8月1~5日)

スルメイカ	一本釣	169隻	80,575kg
-------	-----	------	----------

マダラ	定置網	7隻	95kg
-----	-----	----	------

(8月6~10日)

スルメイカ	一本釣	133隻	51,230kg
-------	-----	------	----------

マダラ	定置網	7隻	317kg
-----	-----	----	-------

深浦 (8月6~10日)		スルメイカ	一本釣	2隻	1,260kg
ブ	リ定置網	20隻	2,648kg		
マ	ダイ定置網	12隻	288kg		

沢辺 (8月6~10日)		マ	ダイ底建網	4隻	11kg
マ	イワシ底建網	1隻	3kg		
マ	サバ底建網	2隻	7kg		

(8月11~15日)

マ	サバ底建網	2隻	8kg		
---	-------	----	-----	--	--

マ	ダイ底建網	2隻	6kg		
---	-------	----	-----	--	--

(38kg)	定置網	1隻	32kg		
--------	-----	----	------	--	--

マ	グロ定置網	1隻	25kg		
---	-------	----	------	--	--

メ	ジ定置網	1隻	28kg		
---	------	----	------	--	--

ブ	リ定置網	1隻	82kg		
---	------	----	------	--	--

ワ	ラサ定置網	1隻	90kg		
---	-------	----	------	--	--

イ	ナダ定置網	1隻	65kg		
---	-------	----	------	--	--

鰺ヶ沢 (8月6~15日)		(取りまとめ中)			
---------------	--	----------	--	--	--

大戸瀬 (8月6~15日)		(取りまとめ中)			
---------------	--	----------	--	--	--

平館 (8月6~15日)		(取りまとめ中)			
--------------	--	----------	--	--	--

### ◎大型クラゲ出現情報

8月15日までの情報では、対馬の西沖で比較的濃密な分布が確認されています。日本海への流入は、鳥取県沿岸まで出現が確認されています。

- ・8月5~12日、対馬西沖で5~100個(傘径10~60cm)の出現が確認されています。
- ・8月8~11日、長崎県沖で10~20個(傘径20~30cm)の出現が確認されています。
- ・鳥取県沖では8月9日に小型底曳網で、8月12日には一本釣でそれぞれ1個体が確認されています。

### ◎青森県海面漁業漁獲状況調査月報(平成19年6月)の概要

- 6月の漁獲数量は32,347トン、漁獲金額は52億9,840万円で前年同月比は数量で118.2%、金額で107.3%となった。また、1~6月合計について前年と比べると、漁獲数量は98,197トン(対前年比107.1%)、漁獲金額は203億8,213万円(対前年比103.6%)となった。
- ほたてがい成貝は12,122トン(前年同月比254.1%)、13億9,935万円(前年同月比179.5%)
- ほたてがい半成貝は9,831トン(前年同月比87.1%)、10億1,497万円(前年同月比61.2%)
- するめいか(近海・生)は4,931トン(前年同月比419.3%)、11億4,249万円(前年同月比373.8%)

**太平洋の海況 (8月9～12日) 概況；沿岸水温は20℃台**

- 太平洋沿岸域の表面水温 20℃台で前回と変わっていません。前年同期と同程度の水温となっています。
- 津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 20℃等温線でみると東経142度付近までで、張り出しは前回とほとんど変わっていません。
- 親潮系冷水の南下 18℃等温線でみると北緯41度40分付近までで、張り出しは前回よりやや弱くなっています。

**日本海側の海況 (8月9～12日) 概況；沿岸水温は22～24℃台**

- 日本海沿岸域の表面水温 22～24℃台で、前回と比べ1度ほど昇温しています。昨年同期と比べると1度ほど低い水温となっています。

**◎青森県周辺海域の水温の長期変動**

青森県では周辺海域において古くから海洋観測を行ってきています。ここでは本県沖の水温の長期変動についてまとめてみました。

青森県周辺海域の水温の長期変動を同時にみるため、全域のデータがほぼそろっている1969年から2004年の36年間について検討しました。各地点ごとに、この間の傾向値を計算しました。図1には観測ラインごとに傾向値の分布を示しました。この図で、プラスのところは水温が平均的に上昇しているところ、マイナスのところは水温が平均的に下降しているところとみることができます。

日本海側の舳作線（北緯40度36分）では沖側の東経139度の表層を中心とし、水深が深まるほど水温の変化量は小さくなっていました。その北側の十三線（北緯41度）でも同様の傾向がみられ、東経138度40分の表層を中心として水温の変化量が大きくなっていました。日本海側の変化量はほとんどがプラスの値となり、この期間中では水温上昇の傾向を示しました。

太平洋側の尻屋線（北緯41度26分）では沿岸、表層の津軽暖流域を中心に正の変化量が大きくなっていました。また、親潮第1分枝域にあたる沿岸の中層から沖合の表層にかけては負の変化量を示し、沿岸の300m層、東経142度30分の200m層から300m層及び144度の100m層を中心とした部分が水温低下の傾向を示しました。鮫角線（北緯40度32分）でも沿岸域は水温上昇の傾向を示しましたが、142度30分以東の沖合は水温低下の傾向を示す負の変化量の部分が広がっており、その中心は東経144度の75m層付近でした。

1969年以降の本県日本海海域における各層水温について解析を行い、全体的な変動の推移を図2に示しました。日本海側の全体的な水温の経年変動としては、水温上昇の傾向にあります。この36年間においては1971年春夏に低水温、73年夏に高水温、76年夏、77年夏及び85年夏に低水温、95年春及び2004年夏には高水温であったことが読みとれました。

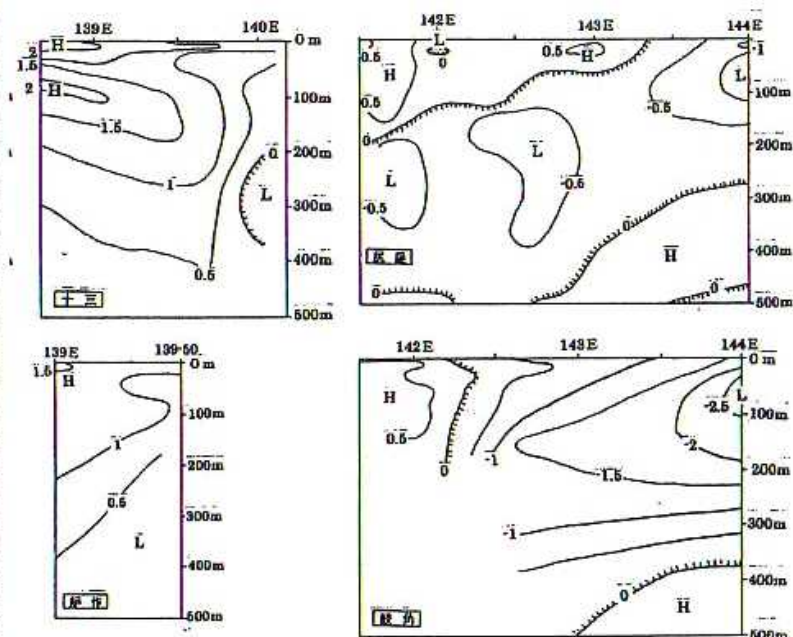


図1 水温の長期変動傾向

値は1969年4月から2004年12月（35.7年間）の平均変化量で表した。プラスの部分は水温上昇、マイナスの部分は水温低下の傾向を示す。

左側は日本海（陸地は右側）、上から十三線、舳作線。右側は太平洋（陸地は左側）、上から尻屋線、鮫角線。

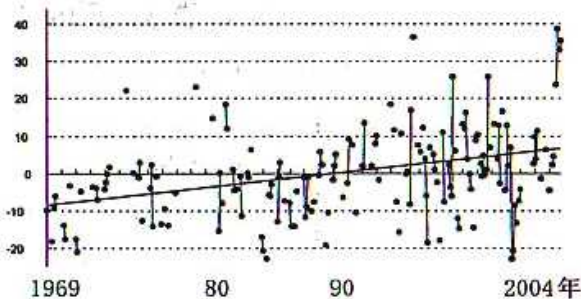
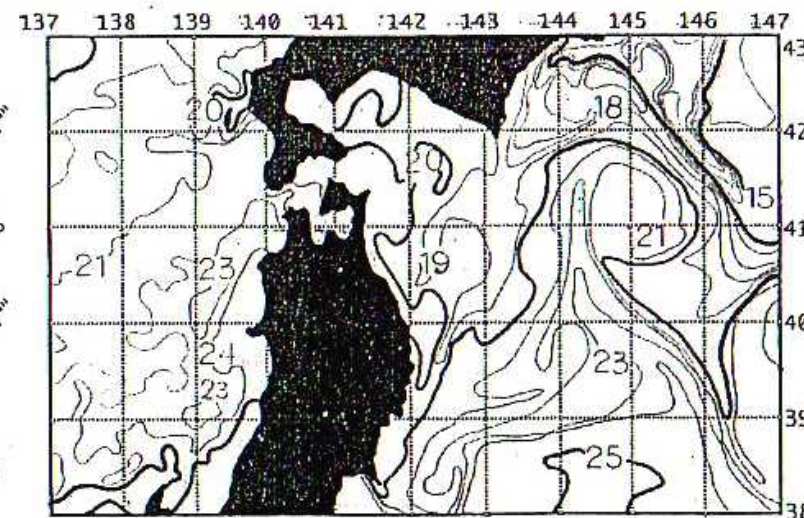


図2 第1主成分のスコアの推移（日本海）  
期間は1969年4月から2004年12月。縦軸は第1主成分のスコア。日本海の水温の全体的な経年変動を示す。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター  
北部太平洋海況情報 第38号 8月13日

●六ヶ所沖の水温

	No. 1 ブイ		No. 2 ブイ
	水深4m	水深5m	水深20m
7月26～31日	18.51	18.00	17.61
8月1～5日	18.43	18.44	17.40
8月6～10日	19.58	19.05	18.21

※No. 1ブイは40-58N, 141-25E, No. 2ブイは40-57N, 141-25E

大戸瀬沖の平均水温（ブイのデータ：℃）

	1m層	10m層	20m層
8月11～15日	26.07	24.78	24.14
前回差	+2.06	+0.83	+0.27
前年差	-0.33	+0.40	+1.56